

一般質問発言通告書

発言順位 10番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年11月25日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 7番 沈 久美

質問事項1	農水省「オーガニックビレッジ宣言」のもとオーガニック給食に踏み出そう
具体的内容	三島の学校給食が優れていることは全国的に知られている。評価のポイントは完全米飯であること、ご飯を主食とした栄養バランスのよい和食の献立展開にある。また、地産地消や季節の彩りが考慮されている点も含め、三島の学校給食に魅力を感じ、この地で子育てをと移住を決めた家族は少なくない。三島の給食は食に関し高い意識をもつ保護者に常に見守られ、さらなる進化を期待されている。 一方、我が国の食料事情は大規模な自然災害、地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化、地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化など多くの課題に直面している。今こそ学校給食から、より健康的な食生活の推進と持続可能な食料システムを構築することが急務であると考え。三島の学校給食オーガニック化への取り組みについて伺う。
	1 三島における有機農法の現状、および学校給食における地元有機野菜の使用状況 2 学校給食にオーガニックを取り入れる際の課題 3 農水省「みどりの食料システム戦略」の概要、およびこの戦略に関する見解 4 同戦略における「オーガニックビレッジ宣言」への挙手をふまえ、推進交付金を活用した学校給食のオーガニック化を求めるがいかがか。 5 オーガニック給食に関する保護者向けアンケート調査に関する見解 6 オーガニック給食「連携組織提案」および「現実路線案」への見解
質問事項2	三島駅南口東街区再開発「施設計画案・再開発区域4F」公益域の時流化に向けて
具体的内容	去る10月21日実施された当事業の進捗状況に関する議員説明会で提出された資料は、事業費、地下水、交通対策、ホテルの見送り、駐車場台数、施設計画等において懸念を残す内容であった。再開発そのものに反対したくはないが、提出資料の納得度は十分とはいえない。 ただし「ポストコロナを踏まえた導入機能の見直し」という観点と柔軟性は評価できる。 その上で、市民ニーズをしっかりと捉えつつ、高齢者・子育て世代・若者がともに交流し支えあえる「地域共生社会」の時流をふまえた施設にしていくため、10月29日付で三島市ホームページ上に公開されている資料のうち、P15「③施設計画案 平面図（再開発区域4F）」について確認したい。
	1 「公益」とは「公益床」という意味か。 2 4階のこの面積に「医療・健康・子育て」スペースを設ける根拠はいかがか。 3 「医療・健康」を掲げているが医師会との協議はいかなるものか。 4 がんセンターや高度医療との連携窓口を求める市民意見は反映されるか。 5 「子育て」の施設は時流に合ったものか。 6 「子育て」は単独では難しい時代。地域共生社会の観点から「子ども・地域食堂」の要素は必須と考える。子ども庁の理念とも合致する横断的複合施設を求めるがいかがか。